

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教育の方法と技術						授業形態		講義・演習	
科目コード	421210	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	田畑 淳一								ICT活 用	○
授業概要	文部科学省は、「学校現場における諸課題の高度化・複雑化により、初任段階の教員が困難を抱えており、養成段階における実践的指導力の育成強化が必要」とし、教員養成課程において、教師の質を高める指導が必要とされています。このことから本科目の講義を下記の目的で実施します。 (目的) 本科目は、教員免許を取得並びに教員を志望する学生に、学校教育における教育の方法及び技術に関する知識・技能を身に着けることを目的とし、具体的には37年間勤務（教育行政含む）した熊本県での実践をベースに「授業」、「学級経営」、「特別活動等教育活動」等の対応などについて、「大学で教員養成段階において身につけたい力」として実施します。									
関連する科目	農業科教育法、理科教育法等を受講しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	①講義の進め方として、プリント・ワークシート等を配布・活用しながら進めます。 ②集中講義で実施し講義だけでなくグループ協議等により参加型講義として教育現場での実践事例を交えながら実施します。 ③学生は、レポート（諸課題、授業の感想、自己評価等）を電子メールで提出。提出したレポートは、添削、採点、コメント等を入れメール等で個人に返信し、講義にて回答のフィードバック、解説等を行う場合もあります。 ④講義は、アクティブラーニング、グループワーク等を組み合わせた対話型で行い、深い学びにつながるよう実施します。また、学生はグループワークにて協議した内容をプレゼンテーションにて発表し、他者評価・指導者評価等を行います。 ⑤講義の最後に、自己表現・各学生の資質・能力としてコミュニケーション力が高まるよう発表等を行います。 （テキスト）□ 講義資料は当日配布。突発的な事情でオンライン講義になった場合は、南九州大学ユニバーサルパスポートにて毎回、講義前日までに資料を添付しますので学生は、講義時間までにプリントアウトし手元に準備すること。									
授業計画 【第1回】	1 オリエンテーション、ガイダンス等～教育の方法と技術を履修するにあたって～ 2 教育方法論 (1) 資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現） (2) 教育方法の基礎的理論（問題解決学習、系統学習、発見学習） (3) 学習指導の形態（一斉学習、小集団学習と学級集団づくり、個別学習）									
授業計画 【第2回】	3 学習指導論 (1) 指導技術の基礎（話法と発問、話し合い、板書とノート） (2) 教材と学習環境（教材と教具、教科書、教室環境、オープンスクール） (3) 教師の実践的知識（教師の知識研究、授業における教師の意思決定、教授学的信念） (4) 学習指導案（学習指導案の実例および作成）									
授業計画 【第3回】	4 探究学習について (1) 探究学習の基礎（その1） ア 授業を支える指導技術（授業に対し、教師は何を大切にすべきか）～ イ 授業を行う上で教師が身につけておきたい基礎・基本 ウ 教師に必要な3つの視点 ①教師として姿勢									
授業計画 【第4回】	(2) 探究学習の基礎（その2） ア 授業を支える指導技術（授業に対し、教師は何を大切にすべきか）～ イ 授業を行う上で教師が身につけておきたい基礎・基本 ウ 教師に必要な3つの視点 ①教師として姿勢 ②発問・指示・説明									
授業計画 【第5回】	5 ICTの活用と実践 (1) 情報機器の活用（視聴覚教育とメディア、コンピュータを用いた授業実践） (2) 情報活用能力の育成（情報モラル、メディアリテラシー）									
授業計画 【第6回】	6 ICTの活用と実践（事例研究） (1) 情報機器の活用（視聴覚教育とメディア、コンピュータを用いた授業実践） (2) 情報活用能力の育成（情報モラル、メディアリテラシー）									
授業計画 【第7回】	(3) 探究学習の応用（その1）※ICT活用も含む ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 ※4.(2)の続き									
授業計画 【第8回】	(4) 探究学習の応用（その2）※ICT活用も含む ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	講義の達成目標□ (1) 本講義は、教育の方法と技術に関する基礎的な知識を修得し、教育現場で実践するイメージづくりを到達目標とする。 (2) これからの社会を担う子供に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。 (3) 教育者としての心構え、教師の資質を養うと併に教育の目的に適した指導技術を身につける。 (4) 教育者になるという意欲、熱意を高める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	授業時間外学習【予習】□ ・グループワークの中で協議した内容をICTを活用した発表等を実施します。 ・これまで中高で取り組んだ「総合的な探究の時間」並びに、「課題研究」等や今後取り組みたい実践等を具現化するよう協議を進めていきます。過去の資料等があれば準備して下さい。
授業時間外学習【復習】	授業時間外学習【復習】□ ・毎日、学んだことや質問等を交えたレポートを提出してもらいます。期限厳守で提出して下さい。
課題に対する フィードバック	出題する課題レポートはメールで提出し、評価・コメントを入れて返却します。
評価方法・基準	評価方法・基準□ 1) レポートの提出と内容（自己評価も含む）：30点 ※必須 2) 課題の作成と提出：30点 ※テストは実施しません。最終レポートとして課題を提出。 3) 講義への意欲・態度（発表等）：20点 4) ファイルによる授業資料、レポートの整理等：20点
テキスト	講義資料は毎講義始めに配布します。オンライン授業になった場合は、南九州大学ユニバーサルパスポートにて毎回講義前日までに添付しますので学生の皆さんは、講義時間までにプリントアウトし手元に準備すること。
参考書	○中学校学習指導要領 ○高等学校学習指導要領 ○新しい時代の教育の方法 ミネルヴァ書房
備考	備考 ①農業高等学校並びに、教育行政等勤務の37年間の実務経験を有する教員が授業を担当します。 ②毎講座のレポートは必ず期限通りに提出下さい。レポート提出方法はパソコンでのメール提出とします。 ③なお、授業進捗で若干内容を変更する場合があります。